

施工前のご注意

- 施工面の不陸、ボード類の継ぎ目など、予め下地処理を行ってください。
- 施工面をきれいに清掃してください。油分などが付着している場合、完全に取り除いてください。
- ロールコルクには巻き癖がありますので、事前に梱包を開封し伸ばして癖を取ってから施工してください。
- 施工時に、接着剤が付く恐れがありますので、周囲の養生をしっかりと行ってください。
- 壁紙の上から施工できますが、はがれやめくれがある場合、補修してから施工してください。
- 壁紙の上に施工する場合、重ね切りは避けてください。カッターで壁紙を切ってしまうと、目地隙きの原因になります。
- 重ね切りの場合、切断後施工面ののり残りに注意し、少なければ再度接着剤を塗布してください。
- 5℃以下での施工は出来ません。事前に保温処置を行ってください。

1.材料の裁断

コルクは施工後、接着剤などの水分で若干伸びますが乾燥後は、縮む傾向にあります。材料の裁断の際、実寸より若干大きめに裁断してください。(1~2mm)



1~2mm大きく

2.接着剤の塗布

ロールコルク・壁専用接着剤(RO)を適量平らな容器に取り出し、くし目ゴテで施工面に塗布します。接着剤の貼り合せ可能時間内に貼り終える量を塗布してください。



3.塗布後のオープンタイム

塗布後、オープンタイムを取ります。塗布後、接着剤の色が灰色に変わってきたときに貼りごろです。下地の種類によりオープンタイム・貼り合せ可能時間が変わります。下記表を参考に施工を進めてください。

	吸水下地 (モルタル・コンクリート等)	非吸水下地 (PVCクロス等)
塗布量 (g/m ²)	250~300	200~250
オープンタイム (分)	*5~10	*10~30
貼り合せ可能時間 (分)	*10~50	*20~60

*下地の種類や状態、気温や湿度、通風により変わりますので試触等によりご確認ください。

4.材料の貼り付け

ロールコルクを貼りつけていきます。

*5mm厚など厚みのあるロールコルクは端部に強い巻き癖が残りますので、巾3~5cmぐらいのベニヤ板で押さえ釘で固定して仮押えをしてください。

*端部で部分的に浮きが見られる場合、隠し釘などで止めてください。

誤って貼ってしまった場合でも、1~2度貼り直しができます。接着剤の貼り合せ可能時間内に必ず貼り終えてください。

5.圧着(重要)

貼り付け終了後、直ちにハンドローラで圧着します。ローラ掛けは真ん中から端に向け丁寧に押さえてください。ジョイント部がある場合、特にジョイント部をていねいに押さえてください。

*全体を必ずローラ掛けしてください。

ローラ掛けを怠ると接着剤のくし目の跡が表面に現れ、仕上がりが悪くなります。

2mm厚など、特にコルクフェルトロールは商品自体に小さな穴があり、圧着時に接着剤が表面に出る恐れがあります。

表面に着いてしまった場合、すぐにきれいな布を清水で濡らし硬く絞って拭き取ってください。接着剤の硬化後では取れなくなります。

6.仕上げ

施工後、30分ぐらいで端部を押せたベニヤなどをはずし、再度ハンドローラで全体を圧着してください。(特に四隅を重点的にしっかり押さえてください。)

施工後の乾燥

急激な環境の変化は目地隙きの原因になります。

施工直後は、エアコンなどでの乾燥はしないでください。

注) 石膏ボードに施工される場合は、プライマー処理をするかコルク側に接着剤を塗布してください。